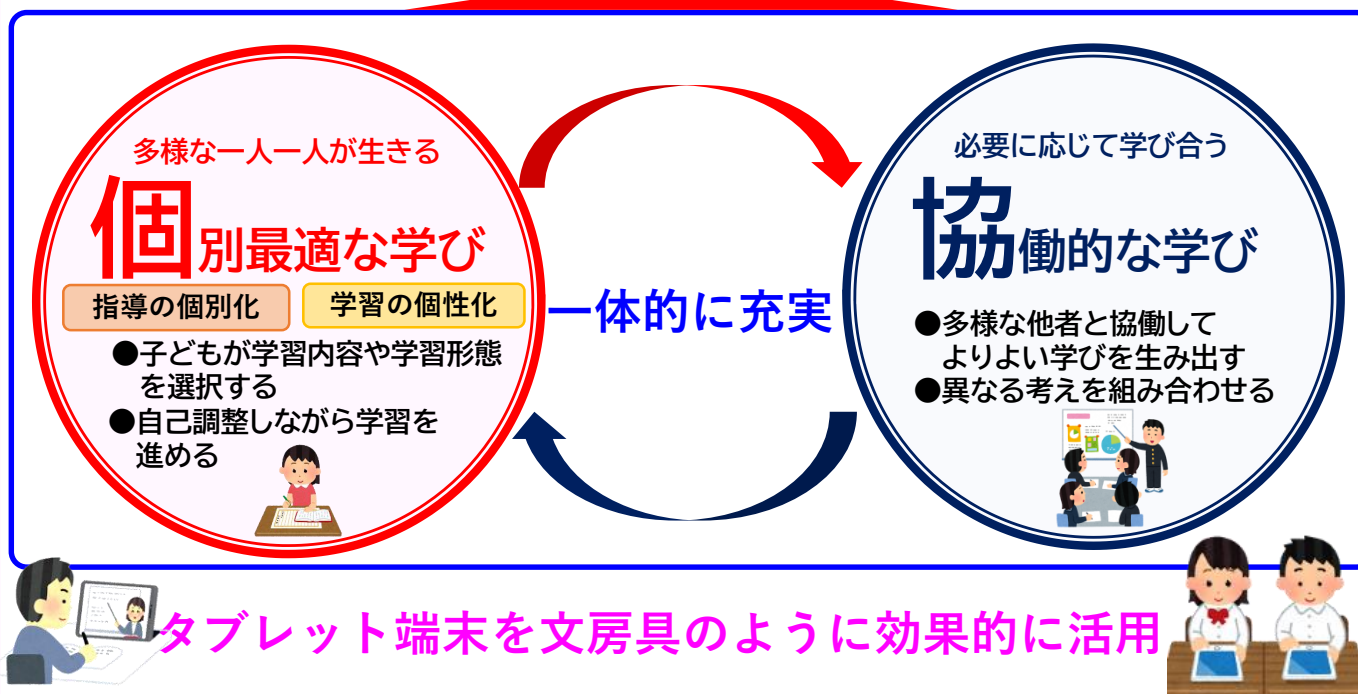


子どもたち一人一人が主人公となる授業づくり

～教師は子どもの伴走者～

子どもが主体となって学び合う授業



- お互いの考えを認め合う学級づくり
- 「わからない」が言える仲間づくり



子どもの未来とともに拓く
非認知能力育成に係る
津市が作成したパンフレット

津市架け橋プログラム



幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの

太陽のような温かいまなざし、かけがえのない愛情のシャワー、成長に必要な土壌

一貫して育みたい
資質・能力

知識
技能

思考力
判断力
表現力等

学びに向かう力
人間性等

知識・技能の基礎

思考力・判断力
・表現力等の基礎

学びに向かう力
・人間性等

中学校教育

小学校教育

幼児教育

3歳未満
の保育

認知能力

非認知能力

非認知能力
の
基礎

愛着形成

子どもが主体となって学び合う授業

個別最適な学び

指導の個別化

目標の達成へ向かうため



- ・自分の特性・学習到達度に合わせ学び方を選択
- ・自分に合った方法を選択

深い子ども理解と教材研究のもと
子ども一人一人が目標の達成へ向かうため



- ・子どもに合わせた教材の工夫
- ・子どもが選択できる環境づくり

学習の個性化

自分の興味・関心、キャリア形成の方向
に応じて学びを広げるため



- ・自らの学習課題を設定して、学習活動を選択
- ・自分に合ったアウトプットの方法で表現

子どもの興味・関心、キャリア形成の
方向に応じて学びを広げるため



- ・一人一人に応じた課題に取り組む機会の提供
- ・子どもの思いに寄り添ったアドバイス

一体的に充実

協働的な学び

多様な他者と協働し
よりよい学びを生み出すため

- ・誰と、どこで、どのようにつながるかを選択
- ・多様な他者と共に問題の発見や解決
- ・自分自身の良い点や可能性を活かし、他者との交流を通じて自分自身の考えを持ったり、深めたりする
- ・お互いの考えを認め合う学級づくり、「わからない」が言える仲間づくり



子どもが、多様な他者と協働し
よりよい学びを生み出すため



- ・答えが一つにならないような学習課題の設定
- ・いつでも、どこでも、誰とでもつながることができるような環境の構築
- ・新しい考えに出会うことができるような機会の準備
- ・お互いの考えを認め合う学級づくり、「わからない」が言える仲間づくり

子どもたち一人一人が主人公となる授業づくり

～教師は子どもの伴走者～

今までの授業（例）



教師の話を聞き
インプット中心



教師の指示で
端末活用

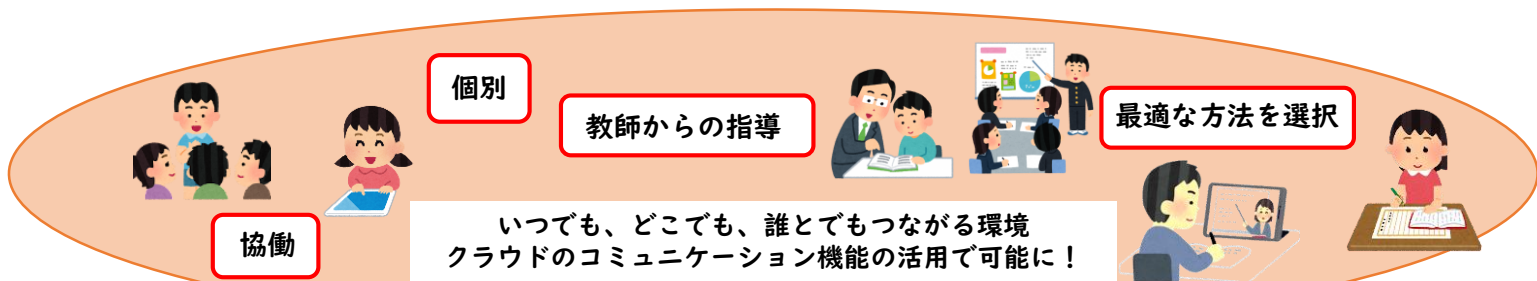


教師の指示で
ペア・グループ活動



挙手することができる
子ども中心の
アウトプット

「教師がどう教えるか」だけでなく
「子どもがどのように学ぶのか」という視点で授業づくりを！



授業イメージ（例）

導入

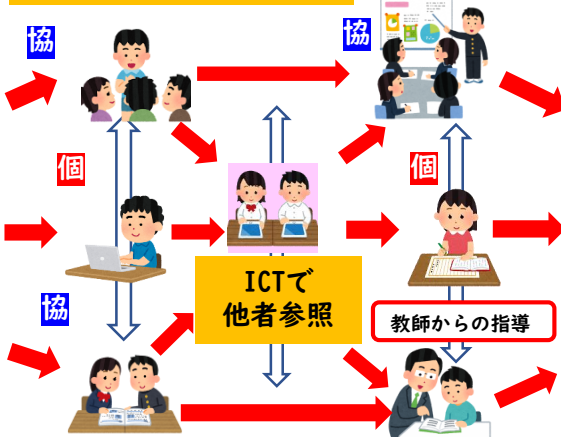
一斉指導

本時のめあてや
学習過程の確認

課題解決の土台となる
内容や方法等の確認

「考えてみたい」
と思うような
導入・動機付け

個別か協働を自己決定



子どもの活動が複線化

振り返り

一斉指導

本時のまとめ

学びの
ふりかえり

授業と連動した
家庭学習

家庭学習の自己決定

復習型

定着のための
練習問題

予習型

次の授業の
予習学習

深化型

興味を持った
課題の探究

ポイント

子どもの学ぶ姿

子ども自身が判断・選択
インプットとアウトプットを繰り返す

教師の役割

学びに手を伸ばせる環境づくり
状況の把握と適切な関わり（指導支援）

子どもが主体となって学び合う授業

授業の展開例

導入

見取りたい姿

- 問題意識や見通しの把握
 - ・問いを見いだしているか
 - ・学習課題を捉え、課題意識をもっているか
 - ・見通しをもっているか
- ※本時のめあて、学習方法、活動の流れ 等



この1時間で何をどのように学ぼうか？

見取りをいかした指導例

- ・子どもが学びたいと思えるような課題設定
 - ・既習内容の想起
 - ・見通しの共有
- ※めあての決定を委ねる、多様な学習方法の準備、活動の流れの提示 等



子どもたちは課題に向かう準備ができているかな？

展開

見取りたい姿

個人

- 思考の内容やつまづきの把握
 - ・どんな思考をしているか
 - ・何につまづいているか
 - ・何に気づき、何に気づいていないか
 - ・個別指導が必要な子どもはいるか
 - ・他者とつなぎたい考えが出てきているか
 - ・自分なりの表現の工夫をしているか

この資料から読み取れることは、
こういうことかな？



協働

※必要に応じて行き来する

- 目標達成に向けた交流の状況の把握
 - ・交流の目的を理解して取り組んでいるか
 - ・交流が停滞しているペア、グループはないか、またその要因は何か
 - ・考えを共有し、比較したり、関連付けたりしているか
 - ・お互いの考えを尊重し合っているか
 - ・思考の変容は見られるか 等



見取りをいかした指導例

- ・つまづきにに応じた声かけ
- ・考える視点を焦点化する問いかけ（考えの比較、誤答の活用 等）
- ・子どもと子どもをつなげるような声かけ
- ・全体の学習達成状況の把握 等

この子はどんなところでつまづいているかな？誰（どんな資料）とつなげれば、ヒントになるかな？



振り返り

見取りたい姿

- 目標達成の状況の把握
 - ・想定したキーワードを用いてまとめているか
 - ・適用問題等を解くことができるか
 - ・目標に応じた視点で振り返っているか
 - ・次時への学習の意欲につながっているか 等



この1時間で何を学んだかな？

見取りをいかした指導例

- ・板書やノート、デジタル上の記録の活用
- ・振り返りの視点の確認
- ・子どもの達成状況に合わせた個別指導
- ・1時間の子どもの姿を見取る中で、気になった子どもへの声かけ 等

今まで、なかなか取り組めていなかったことに、今日はこんなにも頑張ることができたね！



家庭学習

見取りたい姿

○授業外に学びが継続

復習型の家庭学習

- ・授業で学んだ言葉や課題について復習して取り組んでいるか

予習型の家庭学習

- ・次の授業に必要な知識を様々な方法を使って学習しようとしているか

深化型の家庭学習

- ・授業の中で興味を持った内容や、より深く調べたいことについて学習を深めているか

もっと詳しく知りたいので教えてください！



見取りをいかした指導例

- ・子どもたちに学習する方法や表現する方法を提示している

※教科書、資料集、問題集、タブレット端末のドリル教材や提出箱等

子どもが学びを継続させるにはどんな仕掛けが必要かな？

